

会議名称	平成22年度第2回平塚市スポーツ振興審議会
日時	平成23年(2011年)2月17日(木) 14時から15時15分まで
会場	平塚球場会議室
委員数	15名
出席者 委員	9名 飯塚紀一、陶山正明、松崎勇、高梨孝治、藤田早苗、江藤博一、窪田英彦、大崎和夫、椎野佳世子
出席者 事務局	6名 金子教育長、橘川社会教育部長、春原スポーツ課長、蓑島主管、竹内主管、大沢田主任

1 飯塚会長から会長交代についての提案

飯塚会長から、諸事情により会長を辞任したい旨提案があった。

話し合いの結果、新会長に陶山副会長、副会長に飯塚会長が就任する旨を決定した。

2 金子教育長あいさつ

3 陶山新会長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ振興審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者9名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

4 議題

(1) 市民総合体育大会のあり方について

【事務局】

資料1に基づき、夏は現行通り実施し、秋に公開競技としてニュースポーツ種目(トリスバレー、バウンドテニス、パークゴルフ)を実施する方向であることを説明。

【議長】

審議会としてニュースポーツの取り入れや種目の検討、開会式や閉会式等の変更など提言したが、事務局の説明のとおりとなった。皆さんから御意見をいただきたい。

【委員】

市総体にニュースポーツが加わったことはとても良いことだと思う。

ただ、トリムバレーにはバレーをやっている選手が入ってくるのではないかと。

【事務局】

トリムバレーについては、現在体育指導委員が中心となって、6月に地区対抗で大会を実施している。多くの地区が日頃から練習して出場しているので、問題は無いと考えている。パークゴルフ、バウンドテニスについても体育振興連絡協議会と連携を取りながら多くの地区に参加していただけるようにしたいと考えている。

また、今後ニュースポーツの競技を増やす中で、将来的に正式種目として将来的に実施したいと考えている。

【委員】

市総体の提言の中で免許が必要な種目を公開競技とするとの話を聞いていたが、免許を必要とする射撃の団体戦が得点競技に残っている。どうしてか。

また、体育協会内での話し合いの内容を事務局から説明していただきたい。

【事務局】

射撃競技はオリンピックの種目にもなっており、射撃種目が無くなってしまうと、射撃競技自体が衰退してしまうとの話があったため、予算の削減に協力いただいたうえで得点競技として継続することにした。

その他、参加地区が少ない種目、費用がかかる種目について、参加地区の少ない剣道では、体育協会と体育振興会が連携を取り、多くの地区が参加するようにお願いした。

ボウリングに関しては、ほとんどの地区が参加していることから、経費の削減を行っただうえで、継続とした。

陸上競技に関しては、市内一周駅伝大会を実施しており、また、多くの選手が参加した地区が得点を得られることから、得点競技にそぐわないのではとの話が上がり、検討をお願いした。しかし、陸上競技協会からは、陸上競技は世界的にもオリンピック競技の花形であり、運動の中心であることから、得点競技としてやっていきたいと強い要望があった。

来年度は現行通りで行っていくが、今後も継続して検討していきたいと考えている。

公開競技に関しても、一つでも多く大会をやった方が競技が盛り上がり、普及にもつながるためこのまま継続していきたいとの話だった。

【議長】

免許が必要な種目は出場者が限られてしまうことを考慮し、審議会として答申を提出

したが、関係団体と協議してこのような形とした。

これからも継続して見直しを図るとのことなので、皆さんから御意見をいただいきたい。

【委員】

提言とはかけ離れた形になってしまったが、あの提言の方向性としては間違いではないだろうと思う。

しかし、現在スポーツに携わっている人たちがいっぺんに同じ方向を向くと言うことは、現実問題としては難しいし、時間がかかることだと思う。

ここで、立派な計画書を作ったとしても、現場で携わっている人たちの意識が変わらないと難しい。

もし、将来的に得点競技の見直しを行うのであれば、一回全部公開競技にしてしまった方がよいのではないか。その中であるラインを設けて何種目かを得点競技にしていく方がよい。

【議長】

確かに、皆が楽しめる生涯スポーツとのコンセプトの下、提言書を取りまとめたことから、委員さんの中には、「ちょっと違うな」との印象を受けているかもしれない。

種目協会側にとっていきなりの変更は難しいと考えるのもよく分かるが、どこかでこの話題が再燃する時期が来なくてはいけないので、各団体に御理解をいただけるように働きかけなければいけないと思う。

【事務局】

8月21日、28日のこの大会ですが、提言書の中で得点の方法についても検討するようとの記載があった。

現在、参加地区数にかかわらず、優勝すれば24点獲得できる状態であるが、来年度試行的に参加地区数に応じた得点配分を実施することを考えている。

【委員】

3年前までの結果にその配分方法を適用するとどのような順位変動が起こるか計算してほしい。

【委員】

高齢者の方でもスポーツに熱心に取り組んでいる人がいる。ミニ市総体として別に一日設ければ、シニアクラスの大会もできるかもしれない。高校生等も足慣らしのつもりで参加するかもしれない。

また、各競技団体に市総体が無くなったらどうなるかを突きつめて考えてもらい、それを基に市総体のあり方を考えていくのがよいと思う。

【会長】

事務局には今のお話を踏まえ、各団体と折衝していただきたい。

継続して検討していくとのことなので、皆さんには御理解いただきたい。

いずれにしても、生涯スポーツ、楽しむスポーツとして提言をしたが、それぞれの事情を考慮して、結局例年通りの形となった。

事務局に質問だが、体育振興会の選手取りまとめが大変であるとのことであったが、選手の募集方法について、何らかの検討を行ったのか。

【事務局】

各地区体育振興会と体育協会の各種目協会が連携を取って、選手の取りまとめについてうまく調整ができればと考えている。

また、市民から市総体に出場したい旨の問い合わせがあった際には、地区体育振興会を紹介している。

【議長】

各地区で地域情報局としてホームページの立ち上げを行っている。このホームページで選手の募集を行うのも良いのではと考えている。

(2) 平成23年度社会体育関係事業の予定について

【事務局】

資料2に基づき平成23年度の事業予定について説明。

【議長】

例年から変わった点があるか。

【事務局】

特に無い。

(3) 湘南ひらつかパークゴルフ場コース名称について

【事務局】

資料3に基づき概要を説明。

【委員】

資料を参考にすると、市の木、花をコース名にするという考え方がある。もう一つは七夕のおり姫、ひこ星をコース名にするのも良いのではと思う。

【委員】

実際にパークゴルフ場に行ったが、コースの景色の良さに惹かれたので、丹沢、大山をコース名にするのはどうかと思う。

【委員】

「おり姫、ひこ星」が良いと思う。

【委員】

例えば、湘南と七夕をコース名に採用するというのも良いと思う。

【委員】

コース名をひらがな表記にするのはどうか。

【委員】

私は「くすのき、なでしこ」がいいと思う。

【委員】

他の地域の人がコース名を聞いて、平塚と分かるのは七夕に関連付けた「おり姫・こ星」だと思う。市の花や木をコース名にしても、他の市町村の人が聞いても、平塚のイメージは浮かばないと思う。

【議長】

色々な意見が出ているが、事務局で市民の声やみなさんの意見を踏まえた上で検討するとのことである。

みなさんの意見を反映し、「なでしこ・くすのき」、「おり姫・ひこ星」の2案を審議会として提案する。

また、コース名をひらがな表記にすることも検討していただきたい。

(4) その他

【事務局】

先日かながわ駅伝が行われ、平塚市は3位となった。最近は6位、7位が多かった。久しぶりの3位入賞である。

5 閉会

社会教育部長あいさつ